

情報モラル講習会

ネットと上手に向き合うために！

ここ数年、スマートフォンの普及によって生活が便利になる一方、子どもたちの生活にも大きな影響を与えています。インターネットトラブルは年々増加し、いじめや犯罪の発生、使用時間が長くなることによる生活リズムの乱れなど、その内容も様々です。

そのような中、愛護センター職員が、小中学校の児童生徒及びその保護者、教職員等を対象に、情報モラル講習会を開催しています。小中学生対象の講習会の実施回数は年々増加傾向にあり、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、保護者の方を対象とした講習会の依頼も増えています。子どもたちがネット上のトラブルに遭わないように、かつインターネットを有効に活用できるよう、家庭・学校・地域が一体となって、サポートしていくことが求められています。



補導 ～子どもたちが非行に走る前に愛の声かけをします～

街頭補導日誌より

- ◇ 福井駅前周辺で10代と思われる7～8人の男女のうち3人が煙草を吸っていたので、「煙草はまだ早いんじゃない？高校生？」と声をかけました。煙草を吸わないように、捨てないようにと指導すると、「はい。」と返事が返ってきて、煙草の吸殻を拾ってくれました。
- ◇ 歩行者専用通路を自転車に乗ったまま通行してきた高校生に「ここは歩行者専用だよ。自転車から降りてね。」と注意をすると、「すみません。」と言って、素直に自転車から降りてくれました。

ネットパトロール ～自分を守るために～

インターネット上のトラブルの早期発見と被害の拡大防止を目的として、市内の児童生徒を対象とした「ネットパトロール」を実施し、SNS上で問題投稿（個人情報の流出、誹謗中傷等）を発見した際には、学校や警察等関係機関と連携して対応しています。

SNS上で自分や友達の写真や名前を載せる等、簡単に個人情報を公開している投稿が多く見られます。犯罪やトラブルに巻き込まれないためにも危機意識を高めることが大切です。

相談 ～子どもたちの健やかな成長を応援します～



ヤングテレホン

0120-57-4970

月～金

8:30～17:00

(土・日・祝日は除く)

時間外は留守番電話で対応しています

メール相談

yanteresoudan@city.fukui.lg.jp



相談事例より

Q 小学5年生です。友達のことによって相談があります。今まで仲の良かった友達が、1カ月ほど前から話しかけてくれません。こちらから話しかけても無視をされます。友達に無視されるようなことをした覚えがなく、心あたることが何ともありません。クラスの他の子と話すこともありますが、また友達と元の関係に戻りたいです。

A 「なぜ相手が無視するようになったか理由を知りたくないですか？」と尋ねたところ「知りたい。」という答えが返ってきました。それを知るための方法として、『自分で友達に直接聞く』『学校の先生に相談して間に入ってもらう』『家の人に相談して間に入ってもらう』の3つの方法を提示したところ、「誰かに間に入って欲しい。先生がいい。」と話したため、「あなたは何も悪いことをしていないのだから、自信をもって相談していいんだよ。」と伝えました。また、相談者は、学校に行きたくないと思うことが時々あると話したため、「そんな気持ちの中、学校を休まず通っているあなたは心が強い子だと思うよ。」などと本人を励まし、また何か悩みがあったらいつでも電話するよう伝えました。